

無病息災・諸難消除・健康長寿・疫病退散

おおのわ

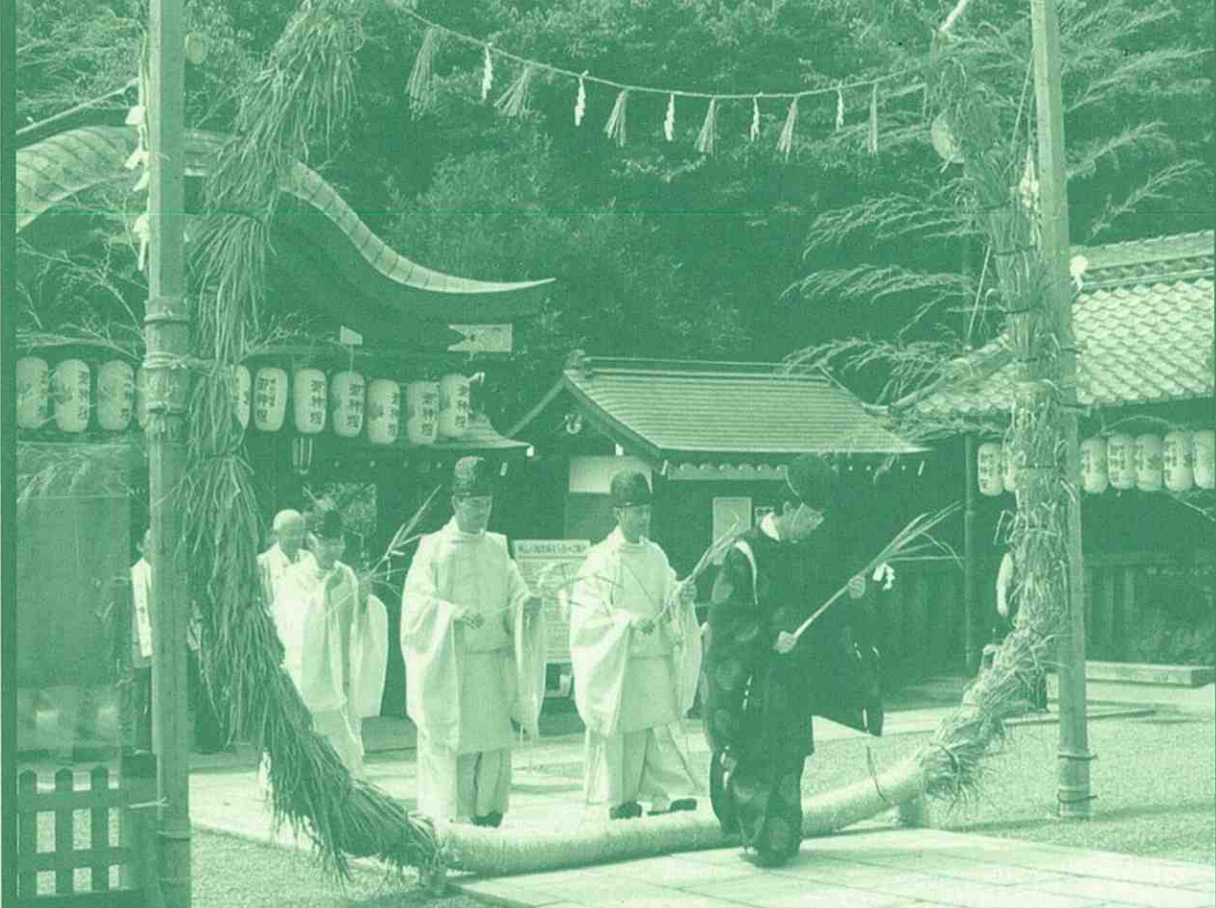
# 大茅輪くぐり

同時開催

赤丸神事(虫封じ)



7月15日・16日・17日  
午後5時～9時



## 茅輪神事

茅(ち・ちがや)のほたけにまわって  
無病息災・諸難消除・健康長寿  
を祈る輪くぐり神事。祓戸・茅輪守を  
受けて輪をくぐります。

## 赤丸神事

幼児の疳の虫を抑え無事成長、  
心身健康を祈る虫封じのまじない。  
御祈祷も受け付けます。  
赤丸提灯授与

## 息災鈴祓

災厄を祓い健康と長寿をお祈り  
する神鈴のお祓い(神楽殿にて)

## ○神賑行事

奉納献燈行事

子供輪くぐり(津島社前)

## ○縁起物

祓戸

茅輪御守

赤丸提灯授与



茅輪御守

## 奉納献燈のご案内

茅輪神事に際し、境内に提灯を点灯  
します。夏の夜を鮮やかに彩る提灯  
を御神前に献燈し、無病息災・家内  
安全・社運隆昌を御祈願ください。

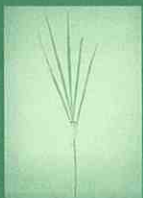
1燈 3,000円



## 祓戸 はらえよし

祓戸を持ち三度茅輪をくぐる事  
によって、無病息災・諸難消除・健康  
長寿の御加護を戴きます。

1体 300円



## 茅輪くぐりの由来

神代、素戔嗚尊が旅の途中、蘇民将来と巨旦将来の兄弟二人に  
宿を求めたところ、裕福な弟巨旦は断り、貧しい兄蘇民は心よ  
くお泊めし親切にもてなしました。尊は御礼として蘇民に「疫病  
が流行した時は腰に茅の輪を着けておれば防げるであろう」と  
教えられました。その後疫病が流行り、茅の輪を着けた蘇民の  
一族は助かり、着けていない巨旦の一族は滅びた故事に由来し  
ています。現在では、茅輪くぐりの神事として厚く人々に信仰さ  
れています。(備後国風土記逸文より)



厄除開運・交通安全祈願の大社 末森城址鎮座

# 城山八幡宮

〒464-0045

名古屋市千種区城山町 2-88 電話 052(751)0788

mail:info@shiroyama.or.jp

城山八幡宮

検索

